

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11301

文化的風土の醸成事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	文化的風土の醸成事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課	企画課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	文化の発展と文化的風土の醸成を図る。		本市が輩出した著名な文化人を広く知らしめ、文化の発信と文化的風土の醸成を図る事業を実施。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		<ul style="list-style-type: none"> 文化的風土の醸成イベントの実施 東京の有吉佐和子邸の現況調査 有吉佐和子氏の資料調査 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的風土の醸成イベントの実施 有吉佐和子氏の資料調査 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的風土の醸成イベントの実施 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 復元に向けた建築設計業務、復元地の整備 有吉佐和子氏の資料調査 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的風土の醸成に関するイベント実施 有吉佐和子邸の活用方法の検討に向けて資料調査等 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的風土の醸成イベントの実施 東京にある有吉佐和子邸の復元のための建築工事 有吉佐和子氏の資料調査

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,168	1,731	839	812	12,183	39,372	872	0	872	0	
伸び率(%)	0%	0%	△61.3%	△53.1%	1,352.1%	4,748.8%	△92.8%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,700	6,700	10,950	6,554	15,142	7,491	8,457	0	8,457	0
	正規職員以外	375	375	472	903	662	867	46	0	46	0
	小計	7,075	7,075	11,422	7,457	15,804	8,358	8,503	0	8,503	0
国庫支出金	898	742	250	248	5,927	16,690	249	0	249	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	5,300	20,500	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	1,270	989	589	564	956	2,182	623	0	623	0	
所要人数(人)	正規職員	0.84	0.84	1.37	0.82	1.88	0.93	1.05	0.00	1.05	0.00
	正規職員以外	0.15	0.15	0.19	0.38	0.29	0.38	0.02	0.00	0.02	0.00
主な予算内訳	設計委託料 11,855千円、管外出張旅費 328千円 【6月補正予算額(合計)】業務委託料 500千円 【12月補正予算額(合計)】工事請負費 82,313千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催数		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
参加者数		人	目標値	70	100	100	100	100
			実績値	100	115	0		
			達成度(%)	142.8%	115%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	東京にある有吉佐和子氏の邸宅を本市に復元し、文化的風土を醸成する。
見直し・改善内容	効果的かつ効率的な顕彰手法を図る。